

次期総合振興計画の策定に伴う
「区の将来像」の進行管理の検討



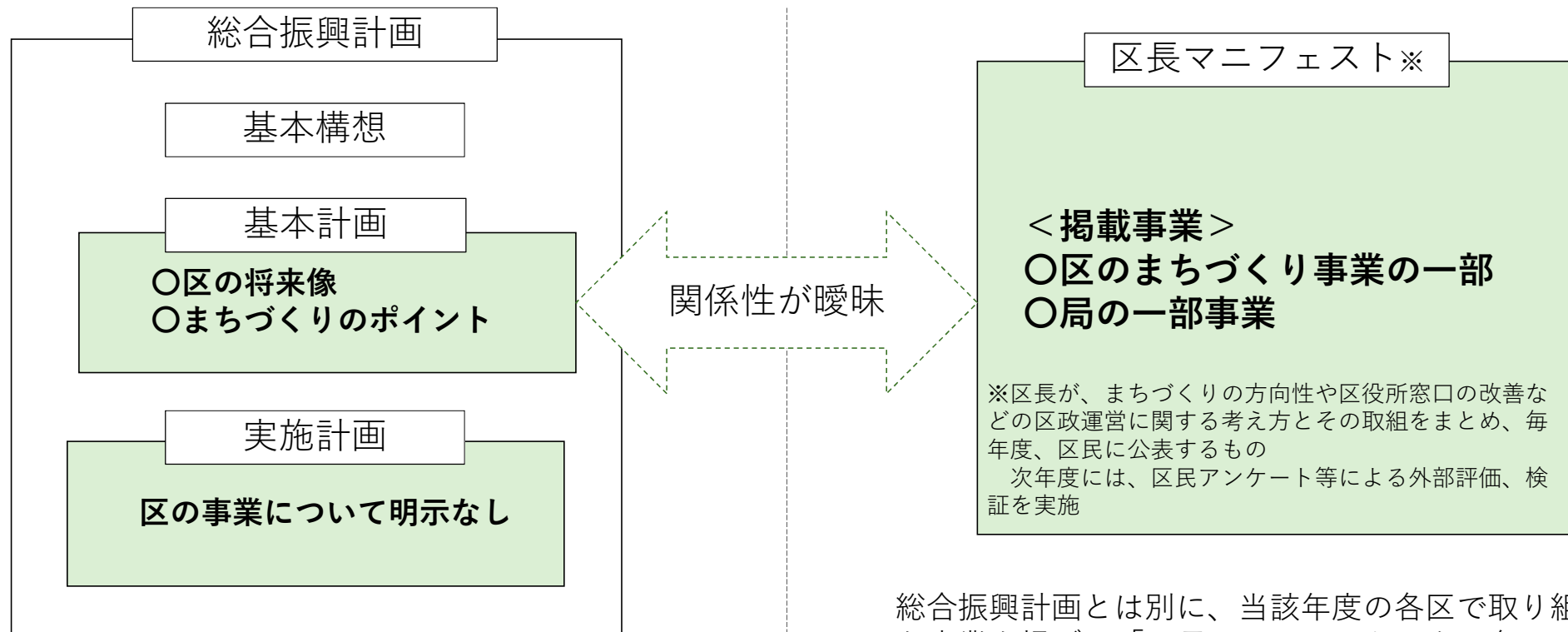
目次

1. 本資料の目的
2. さいたま市の現状
3. 現状の問題点

本資料の目的

次期総合振興計画策定に合わせ、区のまちづくり事業と総合振興計画との関連性を明確化するとともに、進行管理の実施を検討すること

さいたま市の現状



基本計画に「区の将来像」「まちづくりのポイント」などの地域の特性を生かした取組みの方向性について記載している

総合振興計画とは別に、当該年度の各区で取り組む主な事業を掲げる「区長マニフェスト」を、各区でまとめている

現状の問題点

問題点①（進行管理）

現状の「区長マニフェスト」は、区のまちづくりについて、区独自事業の実績のみで評価しており、局の事業が含まれていない。そのため、進行管理が不十分となっている。

問題点②（体系）

「区の将来像」「まちづくりのポイント」などの区のまちづくりの方向性が基本計画に記載されているが、区のまちづくり事業が掲載されている区長マニフェストと総振の関連性が明確になっていないため、一体的な管理ができていない。

問題点③（区局連携）

「区の特徴を活かしたまちづくり」は新総振の体系で、将来都市像実現のため、重点戦略・分野別計画をより効果的・効率的に推進するための取組みとして位置付けられており、区局がより連携して、取り組む必要がある。